

秋分を迎えようとしているが、暑い日が続いている。しかし、夜長にパソコンのキーボードを叩いていると虫の音がそここに聞こえてくる。まるで、「季節が巡ることを忘れていませんよ」と、語りかけてくるようでもある。

刑務所で仕事をさせていただいたある日、その方は、桜の塗り絵を丁寧にされていた。作業の一つである塗り絵であるが、何をするのも丁寧である。私が「花見ではどこの桜が一番きれいでしたか？」と質問すると、その方は、笑顔で「自分の地元の桜です」と答えた。その後、2人でひとしきり花見の話を楽しんだ。

学生が刑務所で実習をさせていたとき、貴重な機会となっている。実習最終日に学生に感想を聞くと、「刑務所で対象者の方が、笑顔で話をして作業をしていることに違和感を感じた」と語った。その違和感を詳しく聞くと、罪を償うために刑務所にいることと、楽しく作業を

行うことがしっくりこない、と正直な思いを表現した。この違和感は、医療観察法が始まったときに作業療法士等支援者が感じたものと同類ではないかと思う。

2025年に実施され

る「拘禁刑」はこの罪を償う観点から、再犯防止を目的としたりハビリテーションに転換していく大きな契機になると思われる。誰も罪を犯したくて犯したわけではない、理由があるのだ。一方、被害者となった方や家族の思い、という視点も重要である。犯罪被害者や遺族の心情を、刑務所や少年院の職員が聞き取って加害者に伝える新たな制度が開始され、少しずつ進んでいる。この取り組みも自分の行動の振り返りを行ううえでは、必要なことだと思われる。

自分の生きてきたこと、その中で罪を犯してしまったことを振り返り、さらに前向きに生きていこうと思えるためには、やはり、よい体験を基盤とした自己肯定感が必要である。その体験を提供するためには、これまでの義務作業からの脱却が必要なのである。作業療法が医療観察法や刑事司法領域で果たす役割は、これまでの作業療法と何も変わらないと思うのである。

(香山 明美)

編集後記

編集顧問

上田 敏 鈴木 明子 寺山久美子

編集委員

江藤 文夫 香山 明美 竹内さをり 長野 敏宏
中村 春基 西出 康晴 山本 伸一

編集同人

朝田 隆	浅野 朝秋	石原 茂和	宇田 薫
内山 量史	沖田 啓子	片岡 聡子	鴨下 賢一
川本愛一郎	岸本 光夫	窪田 静	近藤 国嗣
斉藤 秀之	櫻井 卓郎	澤田 辰徳	柴田八衣子
島崎 寛将	関本 充史	高島 千敬	高橋香代子
竹中佐江子	田中 栄一	田平 隆行	辻 哲也
豊田 章宏	白鳥 智子	二神 雅一	堀田 聡子
松田 雅弘	松本 琢磨	松元 義彦	三浦 晃
宮崎 宏興	宮本 礼子	棟近 展行	村井 千賀
山根 寛	吉川ひろみ	和田 直樹	渡辺 誠

(五十音順)

作業療法ジャーナル VOL.58 NO.12 (Nov.)

2024年11月15日発行(毎月1回15日発行)

定価 2,200 円(本体 2,000 円+税 10%)

年ぎめ予約購読料 30,800 円(28,000 円+税 10%)

(送料弊社負担, 増刊号含む)

発行 株式会社 三輪書店

代表者 青山 智

〒113-0033 東京都文京区本郷 6-17-9 本郷網ビル

代表 ☎ 03-3816-7796 FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

郵便振替 00180-0-255208

(担当: 高野, 森山)

Email otj@miwapubl.com

印刷所 三報社印刷(株) ☎ 03-3637-0005

広告申込所 (株)文京メディカル ☎ 03-3817-8036

本誌の内容の無断複写・複製・転載は、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.

6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, © 2024, Printed in Japan

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。